

# 平成27年度 五泉市体育部 活動報告

部長 山崎 翔泰

1 活動のねらい 体力向上を目指した体育指導についての研修を深める。

## 2 活動内容

(1) 講習会・・・平成27年6月24日(水) 五泉市立愛宕小学校

ア 講師 五泉市立愛宕小学校 校長 齋藤多美子氏

イ 講話の概要 「教員生活にまつわるエトセトラ」

- ①体育は児童の安全が第一であり、単元の中で危険を予測することが大切である。
- ②児童に中途半端な指導をすると確かな技術・技能が身に付かないことから、教師が専門性を身に付ける必要がある。
- ③教師としての「旬」に気づき、生かすことで教師の資質向上につながる。

(2) 指導案検討会・・・平成27年9月9日(水) 五泉市立村松小学校

ア 授業者 菊池 直和教諭(村松小学校) 第1学年「動物に大変身」(表現遊び)

イ 指導構想についての説明と参観者の意見

表現運動は、1年生から6年生まで系統性をもって指導するように述べられている。また、中学生では新たに表現ダンスが指導要領に加わり表現運動の重要性は増してきている。そこで、1年生の段階で子どもたちにどのように表現運動を指導していけばよいか提案し研修したいと考えた。参会者からは、「動物になりきるなど、子どもたちが楽しく表現する場を作ることが必要である。」「低学年の段階では客観性をもって自分たちの表現を評価することは難しい。そこで、自分たちの表現をデジタルカメラやタブレット等で撮影し、それらを見直すことで自分たちの表現を客観的に見直すことができるのではないか。」という意見があった。

(3) 授業研究、協議会・・・平成27年10月14日(水) 五泉市立村松小学校

ア 協議の視点1：動画撮影の工夫

動画撮影をしたことで、自分たちの動きを視覚的に確認できた。1回目より2回目、2回目より3回目と、動きの発展が見られた。はじめ⇒なか⇒おわりと、学習活動の中で流れができた。また、回数を重ねることで、子どもの動きが途切れずに流れるようになった。

イ 協議の視点2：小人数によるグループ編成

4人グループという人数編成が良かった。互いによくかかわり合い、楽しそうに取り組む中で、動きの発展が見られた。

ウ 協議の視点3：動きの質を高めるためには

- ①それぞれの動物の動きのイメージができていない様子が見られた。どのような動きをするのかイメージをもたせることで、動きの質が高まるのではないか。
- ②表現させるために、「お話を作る」「動画で確認させる」などの手立ては有効であった。しかし、技能面でのねらいである「題材の特徴をとらえ全身で踊ること」に関して、手立てや支援の工夫が必要であった。



## 3 成果と課題

本年度の体育部会では、「体育科教育」と「表現遊び」について研修を行った。講話では、35年にわたる教員生活の豊富な経験から様々な視点でご講話をいただいた。体育科教育だけでなく、教師としての在り方も考え直すことができた。「表現遊び」の研究授業では、部員全員がデジタルカメラを持ち、子どもたちとかかわり合いながら授業を参観する新しいスタイルに挑戦した。授業者と子どもたちを間近で見ながら、動きの質を高めるために必要なことに気付くことができた。今後も日々の体育指導を振り返り、体育授業の中で子どもの体力向上を図るよう努めていく。